



チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

第74回「米国株式市場 月中安の月末高？」

直近3か月ですが、米国10年国債利回りの動きは月中にかけて上昇し、月末にかけて低下しました。その動きに対応して米国株、特にNASDAQ総合指数も月中は下落し、月末にかけて上昇しています。

今週は、米国10年国債利回りと株式市場（NASDAQ総合指数）との動きについてみていきたいと思います。

～米国10年国債利回りとNASDAQ総合指数の動き～

裏面グラフ1、グラフ2をご覧ください。グラフ1ですが、今年1月の月初から毎日の米国10年国債利回りの推移を示しています。緑の破線は3月以降の月末にあたるところに引いた破線です。7月11日の引け値まで表示しています。グラフ2はグラフ1と同期間のNASDAQ総合指数の推移を示しています。緑の破線もグラフ1と同じ3月以降の月末に引いています。

さて、グラフ1をみると、破線の間で米国10年国債利回りが上昇しているところがあります。4月中（3月末と4月末の間）は4/11に4.49%、5月中は5/21に4.60%、6月は6/6に4.51%です。このように月初から月中に利回りが上昇するのは、トランプ政権の高関税政策の発表でインフレ高進が懸念されたことや、底堅い雇用情勢などが発表されたことに反応して債利回りが上昇したと考えます。利回りが高値をつけた後は、月末にかけては、利回りは低下しています。4月末は、4.16%、5月末は4.40%、6月末は4.23%となりました。

月末にかけて発表される消費者信頼感指数やシカゴ購買部協会景気指数など景気に対するセンチメントが低下していることを示す統計によって国債利回りは低下したと考えられます。

この10年国債利回りの動きを受けて、直近3か月のNASDAQ総合指数は、月中にかけて値下がりしていても月末にかけて前月比横ばいや上昇という結果になりました。具体的には、本年3月末のNASDAQ総合指数は17,299.29ポイント（Pt）でしたが、4月末は17,466.34Pt、5月末は19,113.77Pt、6月末は20,369.73Ptまで上昇しました。6月末が史上最高値まで上昇したのは、6月末が四半期末にあたり、投資ファンド勢が運用する資産の評価額を高くしたい狙いがあったのかもしれません。

～投資戦略の一つのヒント？～

この3か月間の動きと同じ動きを今月もすると考えるなら、米国10年国債利回りが月中にかけて上昇し、NASDAQ総合指数が下落した場合に、月末の債券利回り低下、NASDAQ総合指数上昇を狙って株式に投資することも一つの投資戦略になるのではないかと思います。今月は10年国債利回りは6月末の4.23%から7/11には4.41%まで上昇していますが、NASDAQ総合指数は引き続き上昇し7/11には20585.53Ptをつけ高値圏を保持しています。今月は一体どうなるのでしょうか？

今月がこれまでの3か月と同じ動きになるのかどうかは全く分かりません。案に相違してNASDAQ総合指数の動きは値下がりした後、株価が戻らないことも考えられます。今回ご紹介した投資戦略はあくまでも仮定に基づく一つの戦略です。ご投資につきましては、皆様の自己責任の元で行っていただくようお願い致します。今後も10年国債利回りと株式（特にNASDAQ総合指数）の動きに注目していきます。

グラフ1



グラフ2

